

公益財団法人下松市水産振興基金協会 平成 26 年度事業計画書

1 基本方針

当協会は、山口県知事から移行認定を受け、平成 26 年 4 月 1 日から「公益財団法人下松市水産振興基金協会」として新たに出発します。公益財団法人として公益目的事業を適切に実施し、公益財団法人としての責務を果たします。

公益目的事業内容として、定款第 4 条第 1 項第 1 号、第 3 号、第 4 号、第 5 号に基づく“水産資源の維持拡大および栽培漁業の推進に関する事業”を行い、定款第 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号、第 3 号、第 4 号に基づく“養殖技術の保持および観光資源等に関する事業”を行います。

また、収益事業内容として、第 4 条第 1 項 1 号、第 2 号、第 6 号に基づく“水産資源の維持拡大に関する事業”を行います。

2 個別の事業内容について

(1) 公益目的事業

当協会の公益目的事業は、その事業内容の性質から、公益目的事業 1【公 1】と公益目的事業 2【公 2】と 2 つに分類されます。

・公益目的事業 1【公 1】

※水産資源の維持拡大および栽培漁業の推進に関する事業

本事業は、近海の漁獲量の増大や魚食普及を図るために、種苗生産、放流および供給事業、中間育成放流および供給事業、栽培漁業広報啓発事業等を実施することを通じて、地域あるいは、山口県の水産資源の維持拡大および地域産業の振興を図るものです。この目的を達成するための以下の(a)～(c)の事業は、共通目的を達成する手段と位置づけられることから一つにまとめました。なお、これらの事業は、事業推進のために技術や経験を生かして養殖事業を実施し、技術の指導および改善のための試験研究を行うとともに、水産資源の確保に寄与し、ひいては下松市の観光振興にも貢献する事業です。

(a) 種苗生産、放流および供給事業

【目的】

瀬戸内海を中心とした県内の水産資源拡大および漁獲量の安定化を目指して「つくり育てる漁業」である栽培漁業を推進する推進します。特に他の関係機関では技術的に対応が難しい魚種について、当協会が実施する種苗生産供給事業を通じて、地域の水産振興に寄与します。

【内容】

当協会が管理する下松市栽培漁業センターにおいて、魚類の採卵、孵化ならびに育成を行います。また、種苗生産技術の開発および向上を図るとともに、周南地区の海域への放流、県内漁協や行政等へ供給します。

【対象魚種】

マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ

【事業明細】

資料：別表 1

(b) 中間育成、放流および供給事業

【目的】

共第 77 号共同漁業権海域(周南地区海域)の水産資源の増大および漁獲量の安定化ならびに、漁業経営の安定化を図り、食育と地産地消の推進のために稚魚を放流することにより、「つくり育てる漁業」である栽培漁業を推進します。

【内容 1】

稚魚等を購入し中間育成を行い、周南地区へ放流するとともに県内他地域への供給も実施します。

【対象魚介類】

ヒラメ、トラフグ、カサゴ、クルマエビ、ガザミ、アワビ、アカガイ

【内容 2】

稚貝の中間育成を行い、飼育技術や投資資金を最小限に抑えた簡易養殖の開発研究を実施します。

【対象稚貝】

アサリ

【事業明細】

資料：別表 2

(c) 栽培漁業広報啓発事業

【目的】

一般市民を対象に、水産業、魚食普及や栽培漁業への興味を促すとともに、食育および地産地消を推進することを目的とします。

【内容 1】

小中学校等における栽培漁業についての水産教室(出前講座)の実施や魚(ヒラメ)のさばき方の体験教室を開催し、啓発活動を行います。

【対象者】

児童生徒を含む一般市民

【費用、参加費】

出前講座……無料

“笠戸ひらめ”のさばき方体験教室 2,000 円/回(含:ひらめ 2 尾)

【内容 2】

子ども達を対象に、当協会が管理する下松市栽培漁業センターで飼育するヒラメ等の餌やり体験と放流体験を実施します。

【参加費】

無料

【事業明細】

資料：別表 3

・公益目的事業 2 **【公 2】**

※養殖技術の保持および観光資源等に関する事業

本事業は、下松市を代表する観光資源である”笠戸ひらめ”および”笠戸とらふぐ”の養殖を行うことを通じて、地域漁業者のための養殖技術の確保が行え、地域の水産資源の維持拡大することで、地域産業振興および

観光振興を図るために、栽培漁業の推進するものです。なお、これらの事業を行うことにより、種苗生産・中間育成放流事業の技術を生かした養殖を行え、また、養殖技術を種苗生産・中間育成放流事業に取り入れるなど、両事業の効果的な推進を図ります。

(a) “笠戸ひらめ”の養殖と海上ヒラメ養殖技術保持に関する事業

【目的】

1983年に当協会ではヒラメ養殖を始めてから、その養殖技術を提供したことで、下松市内では企業もヒラメ養殖に参入し、漁業者も海上筏で養殖を始めました。「笠戸ひらめ」を広める会」が結成され、地域を挙げてひらめ養殖の推進および宣伝が行われたことで地域の重要な特産品になりました。しかし、価格の低迷等により企業の養殖は撤退し、漁業者はトラフグ養殖に切り替えたため、現在では、山口県内の瀬戸内海側でヒラメ養殖は当協会のみになりました。“笠戸ひらめ”は、下松市の水産資源および観光資源として重要な位置づけがされており、「試験研究の成果品」を市内観光施設等へ供給を行い、水産振興および観光振興に寄与することを目的とします。

また、ヒラメの陸上養殖より難しいとされる海上養殖の技術改善および保持を行います。

【内容】

ヒラメ種苗を購入し、陸上水槽と海上筏で育成し、養殖技術の指導および改善のための試験研究を行い、その養殖した「試験研究の成果品」のヒラメを、下松市の観光資源として市内観光施設等へ供給します。

【対象者】

養殖業者等、他の水産研究機関等、市内観光施設等、一般(市主催等イベント用の提供)

【実施方法】

種苗を購入し、海上(田の字筏)および陸上水槽で育成研究

【試験研究養殖尾数】

28,000尾

【事業明細】

資料：別表4-①

(b) “笠戸とらふぐ”の養殖技術指導と養殖技術改善のための試験研究事業

【目的】

栽培漁業において中心的な役割を担う当協会が、地域の養殖事業者の技術支援、指導のためにトラフグの研究、技術開発および技術保持のために養殖事業を実施します。

【内容】

トラフグ種苗を購入し、海上筏(田の字筏)で育成し、養殖技術指導および技術改善のための試験養殖を行います。

【対象者】

養殖業者、他の水産研究機関、市内観光施設、一般(市主催等イベント用の提供)

【実施方法】

笠戸島海域で、海上筏(田の字筏)2台を上限とし、単年度種苗導入2,000尾を上限とし、成育状況と歩留まりの向上および魚病対策に関する技術研究を行います。なお、「試験研究の成果品」は漁業者の出荷時期の端境期を補う時期に、市内観光施設等に活用することで、観光資源の安定化に寄与します。

【事業明細】

資料：別表4-②

(2) 収益事業

※水産資源の維持拡大に関する事業

(a) 種苗事業、中間育成事業

【目的】

公益目的事業としては、山口県内を中心とした種苗生産供給および中間育成放流事業を行いますが、収益目的事業として、水産資源の有効利用および経営の安定化のため、技術的な面で県外等からの

要望に応え、余剰生産分の出荷を行います。

【内容】

種苗生産したマコガレイ、キジハタおよびオニオコゼ種苗と中間育成したアカガイ種苗を山口県外事業者に供給します。

【対象者】

県外行政機関、県外漁協およびその他の県外事業者

【事業明細】

資料：別表5-①

(b) 観光および水産資源の有効利用に関する事業

公益目的事業として、下松市の観光資源として観光振興に寄与しながら、ヒラメ養殖技術の保全をするために養殖事業を行います。安定供給のために成果品の余剰分を水産資源の有効利用および経営の安定化のために、下松市内飲食店および周南市水産物市場などへ供給します。

【内容】

ヒラメ養殖での余剰成果品を下松市内飲食店、周南市水産物市場等に供給します。

【事業明細】

資料：別表5-②

別表1

I 公益目的事業

① 公益目的事業【公1】

(a) 種苗生産、放流および供給事業

魚種	出荷先	採卵数(万粒)	種苗生産尾数	出荷尾数
マコガレイ	下松市		327,000(在庫)	10,000
	〃 (地裁協)			1,900
	周南市			14,000
	〃 (地裁協)			5,000
	徳山地区漁業振興基金			12,000
	新南陽地区漁業振興基金			8,000
	県漁協 藤曲浦支店			6,000
	県漁協 秋穂支店			3,000
	県漁協 彦島支店			2,000
	県漁協 下関ひびき支店			5,000
	県漁協 宇部岬支店			10,000
	県漁協 吉佐支店山口きらら支所			4,630
	下関外海漁業協励会			10,000
	岩国市 岩国市漁協			9,600
	岩国市 通津漁協			500
	岩国市 神代漁協			2,700
	(社)光・熊毛地区栽培漁業協会			20,000
山口県釣り団体協議会	3,000			
計		327,000	127,330	
H26年度生産分次年度への繰越在庫(予定)		105.0	327,000	327,000
オニオコゼ	下松市	110.0	150,000	6,000
	〃 (地裁協)			1,900
	周南市			15,000
	〃 (地裁協)			5,000
	徳山地区漁業振興基金			13,000
	新南陽地区漁業振興基金			10,000
	県漁協 大海支店			13,000
	県漁協 下関ひびき支店			25,000
	周防大島町 久賀漁協			2,000
	岩国市 岩国市漁協			6,400
	岩国市 通津漁協			500
	岩国市 由宇漁協			1,000
	岩国市漁協			4,000
	柱島漁業集落			4,000
計	110.0	150,000	106,800	
キジハタ	下松市	80.0	80,000	5,000
	〃 (地裁協)			1,800
	周南市			14,000
	〃 (地裁協)			5,000
	徳山地区漁業振興基金			12,000
	新南陽地区漁業振興基金			10,000
	県漁協 下関ひびき支店			10,000
計	80.0	80,000	57,800	

別表2

(b) 中間育成、放流および供給事業

魚種	出荷先	購入尾数	出荷尾数
クルマエビ	下松市	300,000	72,000
	周南市		28,000
	計		100,000
ガザミ	下松市	768,000	140,000
	周南市		150,300
	徳山地区漁業振興基金		100,000
	新南陽地区漁業振興基金		70,000
	計		460,300
ヒラメ	下松市	25,000	20,000
	〃 (パイロット事業)	90,000	30,000
	周南市(パイロット事業)		60,000
	計	115,000	110,000
アワビ	下松市	91,000	20,000
	周南市(地栽協)		7,000
	徳山地区漁業振興基金		20,000
	新南陽地区漁業振興基金		10,000
	大島漁協		2,100
	計		59,100
トラフグ	下松市	60,000	10,000
	周南市		13,000
	〃 (地栽協)		13,000
	徳山地区漁業振興基金		13,000
	周南市(大型)		2,500
	計		51,500
カサゴ	下松市	56,000	20,000
	周南市		6,000
	徳山地区漁業振興基金		11,000
	新南陽地区漁業振興基金		5,000
	計		42,000
アカガイ・1 (H25年度導入群)	下松市	150,000(在庫)	69,200
	〃 (地栽協)		20,000
	周南市		34,500
	新南陽地区漁業振興基金		20,000
	計		143,700
アカガイ・2 (H26年度導入群)	岩国市漁協	550,000	10,000
	柱島漁業集落		5,000
	日良居漁協		20,000
	浮島漁協		26,000
	H26年度導入分次年度への繰越在庫(予定)		150,000
	計		211,000

別表3

(c) 栽培漁業広報啓発事業

開催予定日	事業・行事名	内 容
4月19日	親子ひらめさばき方教室	ステーキナイフを用いた簡便な魚のさばき方の習得及び家庭における魚食普及ピーアール事業。
5月3日	笠戸島まつり	会場内にタッチングプールを設置、笠戸島近海で漁獲される魚介類を展示し直接ふれ親しむ。イベント終了後、好評の魚のつかみ取り大会の実施。
6月中旬	海の幸体験交流会	下松市内の小学児童対象に、水産資源の漁獲体験。
7月中旬	栽培漁業放流体験イベント (コースタルリゾート・海開き)	下松市内の園児対象の放流体験事業。また放流事業の重要性の説明。
7～8月	産業観光ツアー(親子)	親子で周南地域地場産業事業所の見学受入。また当事業所の業務内容の説明および餌やり体験の実施。
11月下旬	一般ひらめさばき方教室	一般を対象に、ステーキナイフを用いた簡単な魚のさばき方の習得及び、家庭における魚食普及ピーアール事業。
12月初旬	まるごと笠戸島まつり	会場内にタッチングプールを設置、笠戸島近海で漁獲される魚介類を展示紹介し直接ふれあうことで子供に親しんでもらう事業。イベント終了後、好評の魚のつかみ取り大会の実施。
年間	校外学習 (出前講座)	小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明を各校に直接出張し啓蒙する事業。
年間	校外学習 (施設見学・餌やり体験)	来所の小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明、施設見学及び餌やり体験を行う事業。
年間	職場体験	中・高校生を対象に職場体験を受け入れる事業。
年間	笠戸島観光客の施設見学	笠戸島観光客を対象に、随時施設見学を受け入れる事業。

別表4

② 公益目的事業【公2】

(a) “笠戸ひらめ”の養殖と海上ヒラメ養殖技術保持に関する事業

別表4-①

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸ひらめ	9,150	12,600	平成25年度末在庫予定
	17,700		4・5・10月入荷
			平成26年度末在庫予定
計	26,850	21,750	

(b) “笠戸とらふぐ”の養殖技術指導と養殖技術改善のための試験研究事業

別表4-②

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸とらふぐ	1,500	1,500	平成25年度末在庫予定
	2,000		5・6月入荷
			平成26年度末在庫予定
計	3,500	3,000	

別表5

II 収益事業

(a) 種苗生産、中間育成事業

別表5-①

魚種	出荷先	採卵数(万粒)	種苗生産尾数	出荷尾数	
マコガレイ	徳島県鳴門市 堂浦漁協		173,000(在庫)	9,000	
	(公財)日本釣振興会 兵庫県支部			27,000	
	愛媛県管理資源・漁場改善協議会			25,000	
	広島大学			1,000	
	太平洋貿易(株)			5,360	
	計			173,000	67,360
	(公財)大阪府漁業振興基金			164.5	200,000
H26年度生産分次年度への繰越在庫(予定)	55.5	173,000	173,000		
計	220.0	373,000	373,000		
キジハタ	(公財)日本釣振興会 中国支部		11,000	3,000	
	太平洋貿易(株)			5,000	
	計			11,000	8,000

魚種	出荷先	購入尾数	出荷尾数
アカガイ・1 (H25年度導入群)	福岡県	50,000(在庫)	48,000
	計		48,000
アカガイ・2 (H26年度導入群)	福井県 若狭高浜漁協	450,000	30,000
	福井県 大島漁協		10,000
	長崎県橘湾推進協議会		70,000
	熊本市		7,000
	H26年度導入分次年度への繰越在庫(予定)		50,000
計	450,000	167,000	

(b) 観光および水産資源の有効利用に関する事業

別表5-②

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸ひらめ	5,350	7,500	平成25年度末在庫 予定
	10,300		4・5・10月入荷
			平成26年度末在庫 予定
計	15,650	12,850	